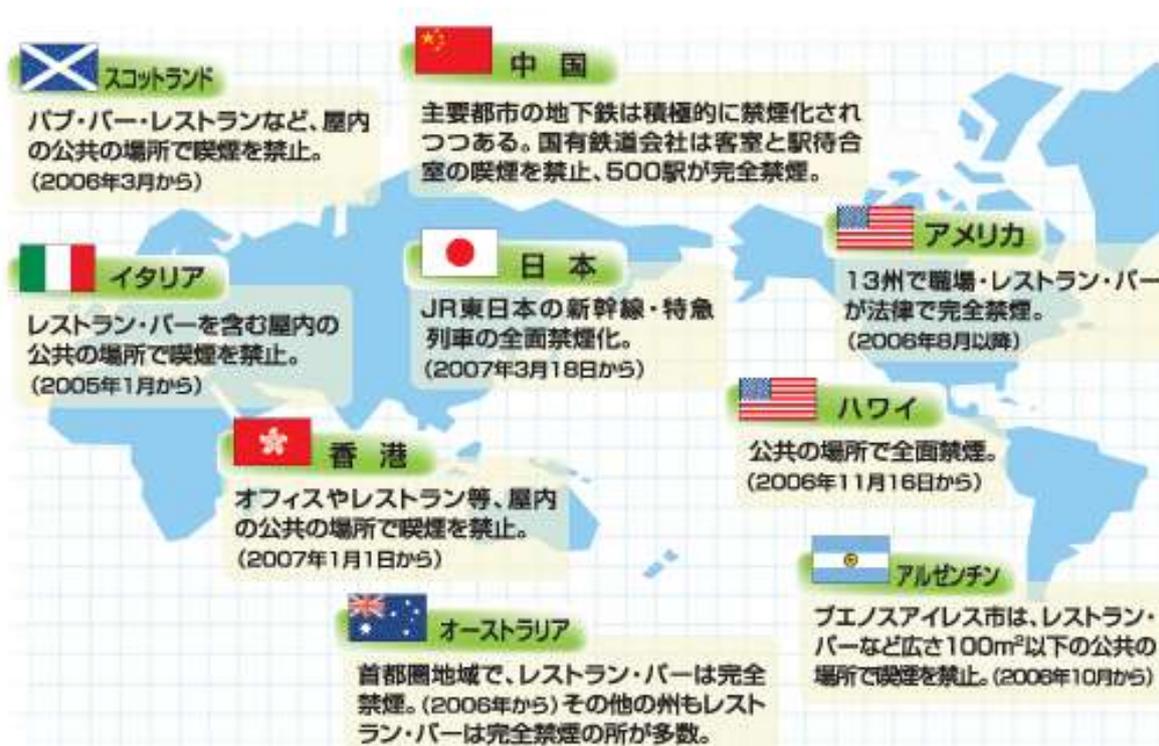


週刊 タバコの正体

世界にはいくつ国があるか知っていますか。日本が承認している国の数は194だそうです。これに日本を加えると195ヶ国になり、その人口は69億人を超え70億人目前となっています。そして、そのうち毎年600万人がタバコが原因で死亡していると世界保健機関(WHO)が発表しています。

毎年、何百万人も人命を奪ってきたので、「タバコは20世紀の疫病」だと揶揄されることもあります。しかし、21世紀に入り世界の各国が、この状況を改善するために「禁煙法」を制定しています。



【出典】日本禁煙学会ホームページより(<http://www.nosmoke55.jp/>)
禁煙広報センターホームページより(<http://kin-en.info/>)
JR東日本ホームページより(<http://www.jreast.co.jp/>)

上図以外にも、マレーシア、タイ、台湾、韓国、ベトナム、シンガポール、ミャンマー、インド、イラン、トルコ、メキシコ、スペイン、フランス、イングランドなど、多くの国で公共施設の禁煙は法律で定められています。そして、世界にただ一つだけ、タバコの販売そのものを禁止している国があります。唯一「タバコがない国」は、人口約70万人の「幸せの国」ブータンです。

1億2千万人の日本と70万人のブータンでは事情が違いすぎて「タバコのない国」なんて、夢物語にしか聞こえませんが、君たちのようにタバコを必要としない人が育っていけば、何百年か後には日本を含む多くの国でタバコがなくなるのは、夢ではありません。

産業デザイン科 奥田 恭久